

りす倶楽部

2017 年
7月号
第252号



薔薇の懇親会

一枝に咲く薔薇にも、先に蕾を解くもの、続いて開くもの、追いついてホッとするものなど、小さなドラマがある。後先^{あとさき}になるそれなりの事情があるにせよ、咲き揃った姿は和やかで、りす倶楽部会員の懇親会のような楽しさがある。

弁護士 福井大海

「戦後70年、私の遺言」を紹介して

大分合同新聞社特別顧問・論説担当 藤内 悟

長年、大分合同新聞でコラムを執筆している。読者から好意的な反応を頂くのは、うれしいものだ。りすシステムが中心になって刊行した「戦後70年、私の遺言」を昨秋、取り上げたところ、過去記憶にないほどの反響が届き、驚くほどだった。

読者センターに「ぜひ読みたい」「どこで手に入るのか」など問い合わせが殺到し、担当者はてんでこ舞い。読者が本を探したらしく、書店からも届いた。大分県内の知名士が

弊紙記者を通じて「母が読みたいと言っているのだ」との問い合わせもあった。読者にも、戦争でご苦労された人、父母から悲惨な体験談を伝えられた人が多いことを実感した。戦争の爪痕がいかに深いか分かる。

執筆前に分厚い本をめくってみた。各章ごと、命からがらなど臨場感にあふれていた。6章の「引き上げの記憶」に引き込まれた。私の両親と姉、兄は中国の奥地山西省から引き上げた。船中で具合の悪かった

姉は持ち直したものの、兄は日本に着いてから亡くなった。私が生まれる前で、両親とも他界し、引き上げの話はもう聞けなくなったが、6章を読みながら「こんな悲惨な状況だったのだろう」と想像できた。

久しぶりに涙を流しながら、原稿を書いた。紹介したい体験談が多かったが、小欄のスペースは限られており、割愛せざるを得なかった。

社の先輩をはじめ友人、知人など大分県在住者、出身者も多数寄稿していた。よくもこんなに多くの人の悲惨な体験、声を集め、本にまとめたものだ。りすシステムのパワーに驚く。松島如戒さんをはじめ、スタッフのご苦労に敬意を表したい。

高い支持率を背景にした安倍首相の姿勢を見ると、戦争の危険は高まっていると思わざるを得ない。戦争の悲惨さを伝え、二度と戦争を起こさない誓いを強くしたなど、この本を刊行した意義は大きい。定期的な出版を続けてほしいと希望している。

連載コラム

暮らしの中の法律

〈第三回〉

弁護士 長谷川 範子

続・気になるあの不動産

さて、前号で予告した【気になるあの不動産】の続編です。

● 長年相続登記をしないままでいた

不動産のお話

「財産の遺言書を書いていらつしやりました。法定相続人に連絡をして遺産を引き継いでもらう必要が生じたので、サポートしてもらえませんか？」との連絡がりますシステム事務局から入りました。

早速、亡くなったご利用者の法定相続人を調査して、遺産引継ぎの段取りを整えます。

遺

産の引継ぎにあたり、遺産の内容を確認していると、どうやらご利用者のお父様の名義のままになっている不動産が、全国にいくつもある様子です。

つい先日、『日本全国で相続登記未了の土地が九州の面積を上回るほどあると推計される』との新聞記事を目にし、「相続登記未了の土地がそこまで多いとは!!」と大変驚いたところでしたが、これはまさにその類の不動産です。

「これは面倒なことになるかもしれない…」と思いながら、調査の結果判明した法定相続人の甥姪6名の方々に前、説明を始めました。

「遺産は預貯金や株式などの金融資産と不動産のようです。ただし、不動産は被相続人の方のお父様、つまり皆さんのおじい様の名義のままになったものがあります。しかも、全国に複数あります。不動産の現状は全く分かりません。どうやら40年前の相続争いが決着せず、そのまま放置されてしまったようです」

法定相続人の甥姪6名の方々は、既に亡くなっていたご自身の親御さんから『40年前に相続で採めた結果、相続未了となっている複数の不動産がある』ということは薄々聞いていたようですが、詳しい事情は全く分からず、甥姪6名の間もほとんど交流が無く、今後の方針についても五里霧中とのことでしたので、当職がお手伝いすることになりました。

ま

ずは遺産分割協議書の作成です。既に不動産の名義人が亡くなっており、その後さらに数度の相続が発生した結果、今どなたがどのような割合で共有しているのかを、順を追って記載した遺産分割協議書を慎重に作成し、それぞれの土地の相続登記を行います。



幸

いったったのは、前号で紹介した案件のように『行方不明者』などが居なかったことです。仮に行方不明者や後見人がついていての方が一人でもいると、スムーズに遺産分割協議書を作成できません。甥姪6名の方々はよく現状を理解され、協力体制は万全です。弁護士にとっては幸先の良いスタートです。

また、相続税の申告をする必要があったため、税理士と連携をとり申告手続きも行います。

相続税の申告と、不動産の相続登記とを並行し、それぞれの不動産の現況がどうなっているのかを調査します。

・ある土地は未登記の建物が建っており、空き家として放置。

・ある土地は分譲地の真ん中に手入れがされずに放置され、雑草が生い茂り、害虫の被害を発生させて、近隣住民や行政から苦情や指導が出されたまま放置。

・ある土地は40年前に複数の借地人によって建物が建てられていたものの、地代は40年間滞ったまま放置。現在、借地人が住んでいるのかどうかも不明。

惨憺たる現状を報告すると、6名の依頼者たちすべてが『田舎の土地には興味はなく、とにかく固定資産税の負担をなくし、対外的なリスクを回避してすっきりしたい』とのことでした。

意見の一致をみたことは、40年前の相続争いが時を経て一定の決着をみたと言つてよいのかもしれませんが。

放置された空き家や分譲地について速やかに売却の方針を定め、りすネット不動産事業部に動いてもらい、販売活動を開始しました。不動産事業部を通じて土地の各種整備を行い、無事に売却にこぎつけることが出来ました。



問

問題は、借地人が居住している土地です。その土地は東京から飛行機で片道1時間半、日帰りがなかなか厳しく、評価額は広さの割に100万円にも満たず、東京からの交通費を考えると、調査費用、売却費用等の諸経費の方が高くなってしまう可能性があったため、代

理人としてどのように動くか悩ましい物件でした。

苦肉の策で現地で活躍している知人の弁護士に15年ぶりに電話を架け、私が全て窓口となり調整役は引き受けるからという条件で、調査と売却に関する委任契約を締結してもらうことが出来ました。



そ

その後、現地の弁護士及び不動産業者の尽力により、40年間でその土地上の建物所有者が入れ替わり、また、一部の建物は空き家となり放置され、さらに一部の建物には祠ほくらがあることなどの詳細が判明しましたが、現在の建物所有者には「地主に地代を支払わなくてはならない」という意識は皆無だったそうので、40年前にさかのぼっての説明を聞いてもらう必要があったとのことでした。

本来であれば、40年分の地代に少なくとも固定資産評価額以上の価格を加算した金額で、買い取ってもらうのが相当だとも考えられますが、放置していた地主

にも責任があり、権利を主張しすぎると、逆に債権については消滅時効、土地については時効取得を主張されてしまう可能性もあったので、円満な解決を目指して進めていただくようお願いをしました。

その結果、一部の建物所有者からは土地の買取資金の用途が立たず買取はできないと断られたものの、他の建物所有者が一括して全部の土地を買い取ってくれることで話が進みました。

全体でも都心の土地に比べたら破格であり、建物所有者にとっては、売買を経ることで安定した権利の上に居住できるという安心感を得ることが出来たと、感謝されたようでした。

他方、遠方で所有権だけ有して固定資産税の負担を懸念していた依頼者にとっては、やっと土地の呪縛から解放されたと安堵の言葉を頂きました。

これから少子化の傾向がますます強まり、日本全国に空き地・空き家が急増し、相続未了の不動産も減る要素が見当たらない現状です。

相続しても解体費用や維持費用ばかり掛かる不動産の相続登記をしたくない気

持ちも理解できませんが、時間が経過すればさらなる相続が発生する等、問題はもっと大きく複雑になり、溝はより深くなるのが一般です。

共有関係が発生させる原因（今回は相続）において、その都度、極力共有関係を発生させない努力をしなくてはならないと痛感したケースでした。

読者の皆さんの中には、既に相続登記未了の土地をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。

順を追って進めれば意外とスムーズにいくこともありますので、ぜひ、『法律相談』や『暮らしのよろず相談会』に出して下さい。

（日程は6ページを参照ください）

（このケースは複数のケースをアレンジした想定
事案です）



なんでも談話室だより

りすシステム 生前契約スーパーバイザー
黒澤淑子

6月22日（木） 東日本支部

開始時間の11時。それつと、5階から1階の会議室へ向かう。

皆さん既にお集まりだ。昨日は夏至だったのに、一日中薄暗く、雨風強く、昼間の長さも分からなかった。

打って変わって今日は快晴。スタッフの小池は皆さんの眼力時計を読み取り、話を進めていく。生前事務のサポート中に、途中でご親族が参加された場合、利用者の方々は遠慮や妥協をされる場合もある。ご自分の希望をハッキリ言うことが大切と話す。私がその立場なら、やっぱり遠慮で固まってしまうかも…。

不動産事業部の末藤が顔を見せた。

ARCO通信の不動産事業部だよりでお馴染みで、質問多数の盛り上がり。

午後一番、小池の「確認シート（お誕生日カードに同封）の返信がなかったため、ご自宅を訪問した」報告では、眠気も覚めた。生活支援アドバイザーの山崎も「確認シートが皆さんの最近のご様子を知る手段なので、介護度の有無や健康状態項目にお答えを記入してください」と、お返事を下さる様、お願いをした。

セコム・ホームセキュリティのご案内

日頃から健康や防犯に気を付けていても、突然何が起こるかわかりません。

りすシステムが推奨する「セコム・ホームセキュリティ」は

24時間365日休みなくあなたの「もしもの時」に対処します。

救急通報・センサーによるライフ監視・防犯・火災・非常通報等に対応し

電話の応答がない場合はセコムの緊急対応員がただちに駆けつけます。

異常があった場合には119番と同時にりすシステムに連絡が入ります。

いのちと暮らしを守るため、ぜひ「セコム・ホームセキュリティ」

の設置をお勧めします。



セコム説明会のご案内

【日時】8月15日(火) 12:30～13:00

16:00～16:30

8月21日(月) 15:00～15:30

9月15日(金) 12:30～13:00

16:00～16:30

9月19日(火) 15:00～15:30

【会場】NPOりすシステム 北の丸ガラスゲート 1F

東京都千代田区九段北 1-4-5

【最寄駅】東京メトロ半蔵門線・東西線・都営新宿線

「九段下」駅(3・5・7番出口) 徒歩5分

東京

【日時】8月12日(土) 10:00～11:00

9月12日(火) 10:00～11:00

【会場】りすセンター新木場(東京都江東区新木場 4-6-13)

【最寄駅】東京メトロ有楽町線・JR京葉線・高速りんかい線
「新木場」駅よりバス8分

※新木場駅から送迎の用意があります

※参加希望の方はご連絡ください

【日時】9月23日(土) 14:15～15:00頃

【会場】西日本支部

大阪市北区東天満 1-10-14 MF 南森町 2ビル 4F

【最寄駅】地下鉄谷町線/堺筋線 「南森町」駅徒歩3分

JR東西線 「大阪天満」駅徒歩1分

* 談話サロン終了後、セコム担当者が機器の操作方法、契約時や月々の費用、工事について等の説明をいたします。お気軽にご参加下さい。

大阪

【日時】9月10日(日) 13:00～14:00

【会場】中部日本支部

名古屋市中村区名駅 3-13-28 名駅セブンスタービル 1211

【最寄駅】JR「名古屋」駅徒歩5分

※参加希望の方はご連絡ください

名古屋

説明会参加お申込みは下記までご連絡ください

りすシステム ☎0120-889-443



急病の時などは、ペンダント型の「マイドクター」を握るだけで、救急信号がセコムに伝わります。



室内の人の動きをセンサーで確認。一定時間動きが確認できなければ、異常事態が発生したと判断し、セコムが対応します。

耳より情報!

私たちが
担当します!

坂本 はるか
(さかもとはるか)
アシスタント

■出身地:

島根県隠岐の島

■趣味: カラオケ

ピアノ、旅行

■性格: 明るい



土屋 美幸 (つちやみゆき)

■出身地: 埼玉県朝霞市

■趣味: 季節の植物めぐり

ヨガ、森林浴

■性格: マイペース

素直



ご自宅でお困りごとやご不安はございませんか? セコム・ホームセキュリティで皆様の安心・安全な暮らしのサポートをいたします。使い方はとっても簡単! お気軽にご相談ください。

セコム・メディカルクラブ

セコムでは契約された方への生活安心サービスとして「セコム・メディカルクラブ」を設けています。24時間365日豊富な経験を持つ看護師が対応する電話健康相談サービスや、医療機関情報の検索サービスなど、健康に役立つ情報を契約者の方々に提供しています。わざわざ病院に行くほどではないけれど、健康上のちょっとした不安があるときなどこのサービスをご利用ください!

《お知らせ》

どの支部の行事でも参加できます。
事前に連絡の上、ご参加ください。

東日本支部

相談会

暮らしのよろず相談会

▽日時.. 8月20日(日) 10時~16時

9月20日(水) 10時~16時

▽会場.. 北の丸ガラスゲート1階

▽担当..

森 妙子 (消費生活アドバイザー)

生前契約スーパーバイザー)

松島如戒 (不動産コンサルタント)

杉山 歩 (NPOりすシステム代表理事)

末藤康宏 (りすネット不動産事業部)

宅地建物取引士

福祉住環境コーディネーター)

▽締切.. 一週間前までにお申込みください

東日本支部

法律相談

▽日時.. 8月22日(火) 13時~15時

9月14日(木) 13時~15時

▽会場.. 北の丸ガラスゲート5階

▽担当.. 長谷川範子 弁護士

▽締切.. 1週間前までにお申込みください



東日本支部

見学会

りすセンター新木場 見学会

▽日時.. 8月12日(土) 13時30分~

9月12日(火) 13時30分~

▽会場.. りすセンター新木場

▽締切.. 前日までにお申込みください

※新木場駅から送迎の用意があります

※Ai (死亡時画像診断) 装置の見学もできます

西日本支部

談話サロン

▽日時.. 8月23日(水) 12時~14時

9月23日(土) 12時~14時

▽会場.. 西日本支部事務所

▽参加費.. 500円 (軽食をご用意)

▽締切.. 2日前までにお申込み下さい

西日本支部

法律相談

▽日時.. 8月はお休みです

9月20日(水) 13時~15時

▽会場.. 西日本支部事務所

▽締切.. 一週間前までにお申込みください

中部日本支部

施設見学会

団地の空き室をリノベーションした、分散型サービス付き高齢者向け住宅「ゆいまゐる大曾根」(2017年9月オープン)を見学します。

▽日時.. 9月5日(火) 10時30分~

▽集合.. 10時に大曾根駅北口

▽参加費.. 1000円 (ランチ・お茶代)

▽締切.. 9月1日(金)

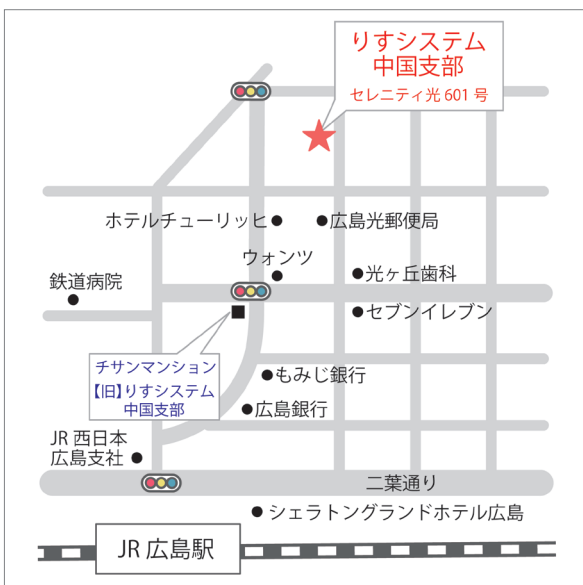
中国支部が移転しました

新住所 (電話番号は変更なし)

〒732-0052

広島市東区光町2-4-4

セレニティ光601号



樋口恵子先生 川嶋辰彦先生 対談式講演会 懇親会

「生き方・死に方を考える」シリーズ 第2回

生と死の『鮮やかなあいさつ』

講師

樋口恵子先生

評論家、東京家政大学名誉教授、女性未来研究所所長

川嶋辰彦先生

NPO草の根国際協力研修プログラム理事長、学習院大学名誉教授



日時

2017年8月8日(火)

講演会 10時～12時

懇親会 12時30分～14時30分

定員

200名

参加費

会員特別割引 3,000円

一般5,000円

会場

ホテル椿山荘東京

〒112-8680東京都文京区関口2-10-8

お申込み・お問合せ

0120-889-443

105周年記念 日本水彩展 地方巡回展 鑑賞会

りす倶楽部の表紙画でおなじみの福井大海先生にご案内いただき、恒例の鑑賞会です。わかりやすくウィットに富んだ先生の解説を聞きながら、一枚一枚じっくりと鑑賞出来る貴重な機会です！

昨年参加して楽しかった！という方、初めての方、たくさんの方のみなさんのご参加をお待ちしています

広島展 8月11日(金) 13:00～

会場：福屋八丁堀本店（広島市）

締切：8月8日(火)



京都展 9月9日(土) 13:00～

会場：京都市美術館（京都市）

締切：9月1日(金)



松山展 9月24日(日) 13:00～

会場：愛媛県美術館（松山市）

締切：9月17日(日)



※参加費：1000円

※1時間ほどの鑑賞会の後、お茶会を予定

※詳細は参加者に別途ご案内いたします。

※りすシステムの杉山代表も参加します

支部



活動記

北海道・北日本支部

▼終の棲処探しをなさった、お二方のお話です。

Hさん(78歳・女性)は自宅での一人暮らしに不安を感じるようになり、見守りをしてくれるサービス付き高齢者向け住宅を探し、その入居保証の申込に出来ました。郊外の施設でしたが交通の便もよく、周辺の商業施設も充実していたとのこと。しかし、費用がこちらの予算を少し上回っていることを施設側に話すと、パンフレットに掲載されている金額より安い金額を提示され、その内訳の説明がなかったことに不安を覚えたそうです。

またNさん(75歳・女性)は、通院の便や生活の質の向上のため引越しを検討。当初は安心できるサービス付き高齢者向け住宅を見つけたと思ったものの、よくよく話を聞いてみたところ、施設設備にきびしい使用制限があったり、こちらの健康状態を必要以上に聞いてくるなど、不安になったそうです。それぞれどうしたらよいだろうか、と、りすシステムのアドバイザーに相談にいられたので、いろいろな種類の高齢者向け施設や、これまでにアドバイザーが見学した施設の説明を聞いて

いただきました。結果、Hさんはケアハウスの順番待ち、Nさんはまだ一人暮らしは大丈夫と、賃貸住宅に入居。それぞれ「自分ひとりで結果を出さず、りすさんに相談してよかった」とおっしゃっていただきました。

大切な終の棲処探しです。少しでも不安なことがあれば、りすシステムにご相談ください。

東日本支部

▼「体力の低下が気になるので、そろそろセコム導入を考えたい」

Fさん(80歳・女性)が自宅で倒れたのは、そんなお便りをいただいた直後のことでした。

マンションの管理人からりすシステムに「Fさんが約束の時間になっても現れない、安否を確認して欲しい」との連絡が入り自宅に急行、管理会社の方と合流しました。

Fさんから自宅の鍵を預かっていなかったたので、上階の方に協力していただき、そちらのベランダの避難階段からFさん宅のベランダへ。カーテンで中が見えなかったため、管理会社の方と話し合い、鍵を壊して入室しました。自宅に入るとFさんがリビングで倒れていました。呼びかけにわずかに反

応したのですぐに救急車を手配。幸い一命は取りとめました。が、検査の結果、脳の広い範囲で梗塞が見られるとのことでした。全身に多数の褥瘡※ができていることから、固い床の上で倒れたままになっていたようです。搬送後も言葉を発することが出来ず、左手以外、動かすことが出来ません。死に直結する脳出血の危険が続いていました。

Fさんからりすに提出されている『医療上の判断に関する事前意思表示書』には、積極的な延命治療は望まない旨が記載されていたので、これに従って療養型病院に転院し、苦痛を取り除くための治療を続けることになりました。並行して、留守宅の清掃作業や新聞購読の停止、介護保険申請等の手続きを行いました。

現在Fさんは徐々に回復の方向に向かっていて、最近はずかですが感情の表出が見受けられ、またペースト状の食事が摂れるまでになっています。

Fさんのように脳血管障害で倒れた場合、いかに早く治療をうけるかが重要で、命の危険を回避出来るだけでなく、助かった場合の後の回復に大きな差が出ます。Fさんがセコムを導入していたれば、もっと早く発見することができたのではないかと悔やまれます。

りすシステムでは定期的にセコム説明会を開催しています。説明を聞くだけでも大丈夫ですので、お気軽にご参加ください。

※褥瘡とは…いわゆる床ずれのこと。持続的な圧迫によって、皮膚組織の壊死が起こった状態。寝たきりや麻痺などで体位を変えられない人にできます。

中部日本支部

▼一人暮らしのYさん(89歳・女性)は、訪問医療・看護、介護支援サービス、デイサービス、そしてりすシステムの定期訪問など、安全・安心な暮らしをサポートする様々なサービスを利用して、穏やかに毎日を過ごしています。

Yさんの住んでいる地域には「日本一暮らしやすい街」を目指して活動しているボランティア団体「日本一の会」があります。

その会では、「生活不活発病※が高齢者にとって良くない」というポリシーのもと、「きょうよう」(「今日用がある」と、「きょういく」(「今日行くところがある」)を大切に、地域の方々が誰でも参加できる集いの場を提供しています。

毎週火曜日開催の「健康カフェ」は、専門医による東洋医学の話や歯科医師による歯周病の話など、知って得する情報が満載です。水曜日は「介護カフェ」が開かれます。家族の介護に疲れた方や会話を友人がいない方などが集まり、憩いと交流の場となっています。月に一度の「認知症カフェ」には専門医も参加して、認知症の方との付き合い方、認知症の方の思いなどを

学びます。Yさんも積極的に参加しています。

りすシステムでも月1回、なんでも談話室を催していますが、皆さんも「きょうよう」と「きょういく」を一つでも多く増やし、ハリのある生活を送っていただきたいと思います。

※生活不活発病（厚生労働省ホームページより）とは…「動かない」（生活が不活発な）状態が続くことにより、心身の機能が低下して「動けなくなる」こと。

特に高齢の方や持病のある方は生活不活発病を起こしやすく、悪循環となりやすいため、早期に対応することが大切です。

西日本支部

▼京都にお住いのKさん（81歳・女性）は、ご両親が亡くなった後は妹さんと疎遠になり、最近では消息もわからなくなっていました。

そんなある日、病院から「妹さんが救急搬送され意識不明です。お身内(家族)として、今後の相談と身元引受保証人をお願いしたい」との連絡が入りました。Kさんは高齢で自分のことではない、いい状態です。妹さんはいすシステムの契約者ではないのです。が、何とかならないかとの相談をお受けしました。

りすシステムでは、契約者本人が引き受けなければならないこのようなケースでも、契約者から委託をうけて

対応することが可能です。この場合も、
りすがKさんからの依頼をうけて、K
さんの代理として、妹さんの入院手続
きや今後の相談等を引き受けることに
なりました。

退院後のことなどを関係者と相談していた最中、その妹さんが亡くなりました。Kさんは、りすに全てを任せたいとのことでしたので、Kさんの代理人として、葬儀の喪主、火葬、マンションの解約、荷物の整理と明け渡しの手続き等を行いました。

その後Kさんから、お墓の管理を妹さんがしておられたと聞きました。K家のお墓を承継する人はいないとのことでしたので、お墓のある寺の合葬墓を契約して、両親など先祖のお骨と共に妹さんのお骨を納骨し、墓じまいを完了しました。

遺産相続については、妹さんには遺言がありませんでしたが、りすシステムで相続の手続きを行い、全ての遺産をKさんが相続することが出来ました。

生前契約は、契約者のお困りごとをいろいろな方法でお手伝い出来る仕組みです。自分一人では解決できないことが生じた場合は、ぜひご相談下さい。

中国支部

▼6月23日に新事務所に移転しました。以前の事務所があったチサンマンションから、徒歩5分ほど北へ行ったところにある、セレニティ光601号

室です。駅からは少し遠くなりましたが、各部屋には大きな窓があり、そこから二葉山の緑が美しく見え、日当たりや風通しもよく、とても明るい雰囲気です。

間取りは、面談室（6畳）、事務室（6畳）、リビング（9畳）、和室（6畳）もあり、リビングでは「説明会」

や「なんでも談話室」を開催。またかねてよりご要望のあった「セコム説明会」も開催する予定です。6畳の和室は、和室の良さを活かした多目的ルームとし、一人でいるのが不安な場合にも、利用者のみなさんに寄り添える部屋として、お役に立てばと考えています。

「事務所には用のある時だけ行けばいい」とお考えにならず、ぜひお立ち寄りいただき、近況などをお知らせください。なんでも談話室にもお気軽にお越しください。

また8月11日(祝・金)に福屋本店で日本水彩展・地方巡回展の鑑賞会を行います。その後、引き続き事務所開きを行う予定ですので、ぜひ新事務所にお集まりいただけますように。(詳細は別途連絡します)

広島駅は、改装工事で南口から新幹線口までが高架で繋がり、大きく変わりました。場所がわかりにくい場合は、タクシーの運転手に案内図を示し「新幹線口にある『ホテルチュウリツヒ』を越えた角を右に入り、すぐ左に曲がって北へ直進。へ府中焼としのや」

のビル」と説明すれば、無事に事務所に着けるハズです。お越しになる際には、お電話をいただければ助かります。新事務所で気持ちも新たにやり組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

九州支部

▼250号で紹介したHさん（91歳・女性）のその後です。

住宅型有料老人ホームの自室はそのまま、併設の病院に入院中です。

入院の理由は、夜間、トイレの回数
が多く睡眠が十分にとれないこと。さ
らに自分でベッドから起きてシルバ
ーカーを押してトイレに行くので、転倒・
骨折のリスクが高まり、ホームではこ
れ以上の見守りは対応できないとのこ
とでした。

入院先では24時間の見守り体制です。スタッフが待機する観察室前の病室で、Hさんのペースで生活を送っています。

先日主治医から、緊急ではないが病状説明をしたいと連絡があり訪問しました。高齢の女性にはよくある症状が出ており、しばらく服薬治療で様子を見ていとのこと。Hさんに面会すると、特に変わった様子もなく、笑顔で話も出来て一安心しました。

入院生活が長引きそうだと思っていたところ、今度はホームから相談したいことがあるとの連絡を受け訪問。内

容は、入院費とホーム利用料の二重の支払いの問題でした。

Hさんはある程度の資産をお持ちです。本人はあまり問題にしていま
せんでしたが、今後のことを本人・主治医・ホーム管理者・りすシステムで話し合い、ホームを退去することになりました。自室を片付け、不要なものを自宅に運び、ケアマネを通してベッド・手摺等の介護用品を撤去しました。

今後退院し介護度が上がったとしても、病院併設の特別養護老人ホーム、もしくはグループホームへの入所が可能。Hさんにはじっくり治療をしていただきたいと思っています。空家になっているご自宅は、近所の民生委員さんと協力して、見回りを継続中です。

大分支部

▼Sさん（87歳・男性）は、第4腰椎を圧迫骨折、リハビリ治療のため3月15日に1ヶ月の予定で入院しました。リハビリを開始した矢先の23日、整形外科棟から内科病棟に移ったと連絡が入り、施設の看護師2名とりすシステムのアドバイザーが病院を訪問、内科の担当医師から病状説明を受けました。

「入院当日、施設のベッドから起き上がれなくなった原因は、圧迫骨折というより誤嚥性肺炎のためではないでしょうか。現在は口から食事が摂れず、鼻腔栄養で治療中です。急変した場合、呼吸器をつけますか？施設入居の

際、入居者に聞いていますか？」との質問をうけたので、持参していた『医療上の判断に関する事前意思表示書』（自身の医療上の判断について、適切な意思表示が出来なくなった場合に備え、本人に事前に作成いただいている書類）を医師に見せました。

【4】食事を口からとれなくなった場合の栄養補給について

〈1〉終末期で食事を口からとれなくなった場合の栄養補給について

〈2〉何らかの理由で食事が口からとれなくなっている状態だが、回復が望めないときまでは言いきれない場合の栄養補給について

（医療上の判断に関する事前意思表示書）より

Sさんは〈1〉〈2〉とも（2）「鼻やお腹に管を通したり、穴をあけてまで栄養補給してほしくない」の項目に〇を付けていました。それを見た医師は「今はまだ終末ではないので【4】の〈2〉に該当し、そうすると管を抜くことになりませんが？」と言われたので「Sさんにもう一度確認させてください」と医師にお願いし、りすシステム杉山代表に相談。「治療のため、生きるために必要なことは医師の判断にお任せする」ということになりました。そのためには【4】の〈2〉を（3）可能な範囲で口からも栄養をとりたいが、状況により静脈栄養や鼻やお腹に

管を通しての栄養補給でもよい

*口からの食事では誤えんによる肺炎の危険が高く、栄養が明らかに不足する場合、補助的に静脈栄養や鼻やお腹に管を通す栄養補給を選択する事もある」に訂正する必要があります。

急速、病院の相談員にお願いして立会人になってもらい、Sさんに訂正について説明し承認を得た後、その旨をりすのアドバイザーが代筆して担当医師に提出し、医師に「先生のご判断で引き続き治療を続けていただきたい」とお願いしました。

それから1ヶ月後の4月26日、医師より「前回は回復の見込みも考えられましたが、今の状態は終末期に近い。鼻の管をまた自分で抜いてしまいました。管からの投薬は停止して管はつけない。本人が苦しまないように、楽に過ごせるようにします。コルセットも苦しうなので外して様子をみます。人工呼吸器はつけません。心臓マッサージはしない方向です。非常にあぶない状態です」との説明がありました。

鼻の管とコルセットを外してから、鼻の管もなく穏やかで落ち着いている日と、朝から熱がある日とを繰り返すし、「非常にあぶない状態」と言われながら1ヶ月が過ぎました。医師はSさんの生命力の強さに感心していましたが、6月に入ったあたりからだんだんと点滴の針が入らなくなってきました。

「奥様にお見舞いに来てもらいますでしょうか？」とお聞きすると「うん」とはつきりお返事をされたので、すぐに奥様のいる施設に連絡し、訪問日を決めました。しかし、Sさんは楽しみにしていたその日を待たず、6月14日に静かに旅立ちました。入院から3ヶ月後のことでした。

Sさんからお預かりしていた「遺す言葉」と書かれた封書の中には「皆様へ、お願いと遺す言葉」が墨でしたためられており「それでは皆様お世話になりました。お幸せにお過ごし下さい。さようなら合掌」と結ばれていました。

葬儀については「血縁、身内だけの密葬で充分、唯、御仏のそばに行くための仏式の行事と、内々の皆様との別れの事は行なってほしい」とのSさんのお言葉に従い、「贈る言葉」「夕焼け小焼け」のメロディの中、しめやかに執り行いました。

自分のことより、いつも私たちのことを気遣ってくれて、優しかったSさん。奥様のことは、心配しないで。私たちがしっかり見守ります。Sさんのご冥福を心よりお祈りいたします。





左胸のロゴマークが
とってもカワイイ
地球に恩返しTシャツ

地球に恩返しTシャツ

カラフルでかわいいロゴ付きの「地球に恩返しTシャツ」
お買い上げ金額の一部を、りすシステムから地球に恩返し基金へ
寄附いたします。ご協力、よろしくお願いいたします。

定 価：2000 円（送料込み） サイズ：S・M・L

カラー：ホワイト・ピンク・イエロー・ライトグリーン・ライトブルー

* 通信販売も承ります。ご希望の方は、
りすシステム 0120-889-443 までご連絡ください。

地球に恩返し運動について

私たちの生命を育んでくれている地球!! このやさしい地球に
少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。
皆さまのご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板に
あなたのお名前が刻まれます。

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の
方は「ペンネーム」を明記の上、「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。

NPO りすシステム
NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構

地球に恩返し運動本部

連絡先：TEL.03-5215-2383



地球に恩返し 基金振込先

● 郵便局から振り込む場合

郵便局口座番号：00140-7-743432
加入者：地球に恩返し基金

● 他行からゆうちょ銀行に振込む場合

店名：〇一九（ゼロイチキョウ）
種目：当座 口座番号：0743432
加入者：地球に恩返し基金



「地球に恩返し」基金に寄附をいただき、ありがとうございました。

赤松 文江さん（神奈川県横浜市）
いけだ みみこさん（京都府京都市）
伊藤 美子さん（東京都港区）
大村 弘子さん（東京都北区）
酒井 均さん（東京都目黒区）

佐野 君夫さん（東京都豊島区）
豊田 三枝子さん（埼玉県越谷市）
中山 佐紀子さん（東京都板橋区）
丹羽 昌枝さん（奈良県桜井市）
松井 道信さん（東京都板橋区）



匿名3名 50音順

※ 2017年6月1日～6月30日現在、13名の方からご寄附をいただきました。
※匿名1名が1000ポイントを達成されました。

● なんでも談話室 ●

◎なんでも談話室は、開催時間中ならいつでも自由に参加できます。

北海道支部	日時：8月4日(金)	11時～15時	会場：北海道支部事務所
	日時：9月6日(水)	11時～15時	会場：北海道支部事務所
北日本支部	日時：8月30日(水)	11時～15時	会場：北日本支部事務所
	日時：9月30日(土)	11時～15時	会場：北日本支部事務所
東日本支部	日時：8月21日(月)	11時～15時	会場：北の丸ガラスゲート1階
	日時：9月19日(火)	11時～15時	会場：北の丸ガラスゲート1階
中部日本支部	日時：8月10日(木)	13時～15時	会場：中部日本支部事務所 1211号室
	日時：9月10日(日)	13時～15時	会場：中部日本支部事務所 1211号室
中国支部	日時：8月19日(土)	13時～15時	会場：中国支部事務所
	日時：9月2日(土)	13時～15時	会場：中国支部事務所
四国支部	日時：8月25日(金)	13時～15時	会場：四国支部事務所
	日時：9月25日(月)	13時～15時	会場：四国支部事務所
九州支部	日時：8月29日(火)	13時～15時	会場：九州支部事務所
	日時：9月29日(金)	13時～15時	会場：九州支部事務所
大分支部	日時：8月22日(火)	13時～15時	会場：大分支部事務所
	日時：9月22日(金)	13時～15時	会場：大分支部事務所

● 談話サロン ●

西日本支部	日時：8月23日(水)、9月23日(土) 詳しくは6ページのお知らせをご参照ください
-------	--

● 生前契約説明会・ステップアップ相談会 ●

支部	電話番号	生前契約説明会		ステップアップ相談会	
北海道支部	011-756-4165	5日(1月休み)	13:30～15:00	随時開催	
北日本支部	022-797-2072	2日(1月休み)	13:30～15:00	随時開催	
東日本支部	0120-889-443 03-3511-3277	10日	11:00～13:00	15日	11:00～12:30
			14:30～16:30		14:30～16:00
		24日(3・9月休み)	13:00～15:00		
中部日本支部	052-569-2254	25日	13:00～15:00	随時開催	
西日本支部	06-6809-2289	7日	10:30～12:00	26日	10:30～12:00
			14:00～15:30		14:00～15:30
中国支部	082-568-1585	28日	10:30～12:00	随時開催	
四国支部	089-933-5670	25日	10:00～12:00	随時開催	
九州支部	092-738-2718	24日	13:30～15:00	随時開催	
大分支部	097-538-6263	27日	13:30～15:00	随時開催	

例会・見学会・談話サロン・法律相談のお申込みは…

 0120-889-443

生活支援テレホン

 0120-332-206

24時間365日いつでも りすセンター 新木場

 0120-373-959

(海外からご利用の場合) +81-3-3522-5660